

コロナ禍の原発避難と再稼働に関する質問・要望書

おおい町長 中塚 寛 様

日頃は、おおい町住民の安全のために尽力いただき、また、避難計画の問題では関西の自治体との連絡等もありがとうございます。

8月27日には、コロナ禍で原発事故が起きたことを想定した福井県の防災訓練が実施されました。私たちは大島地区と避難先の敦賀市で訓練の状況を視察しましたが、感染症対策と原発事故時の避難の両立は極めて困難だと痛感しました。

また、9月12日には、おおい町の避難先の一つである兵庫県伊丹市に申入れを行いました。感染症対策のためには、避難所は約2倍必要となり、濃厚接触者等の部屋も確保できていない状況でした。

これらを踏まえれば、コロナ禍での原発避難は極めて困難です。住民の安全を守るためには、少なくとも、コロナ禍では原発の再稼働はあってはなりません。

関西電力は、来年1月に40年超えの老朽原発美浜3号を再稼働したいと表明しています。老朽原発には特有の危険があります。さらに、美浜原発で事故が起これば、おおい町は美浜町住民の受け入れ先となります。避難所の数の問題等で本当に受け入れが可能なのでしょうか。

関電は、原発マネー不正還流事件について「膿はだしきった」などと述べています。しかし、長きにわたり関電に染みついた隠ぺい体質は簡単に変わるものではありません。原発の運転では、安全性よりも経済性を優先させる姿勢は変わっていません。高浜原発では「異物」によって、3度も蒸気発生器細管が損傷しましたが、「異物」を見つけることなく「靴カバーの徹底」等で済ませてしまっています。大飯原発3号で見つかった一次系配管の亀裂について関電は、規制庁との5回目の公開会合（10月19日）でやっと、配管は現在の定期検査で取り換えると表明しました。傷の入った配管は、13ヶ月運転終了前に配管肉厚が技術基準を割り込み、規則違反になることは明らかです。しかし関電は、いまだこれを認めていません。

福島原発事故から間もなく10年になろうとしています。事故によって故郷を追われた避難者の苦痛と困難は終わることはありません。事故が起これば、立地のおおい町はもとより、関西全域が甚大な被害にみまわれます。

11月3日以降には、関電の原発は定検等で全て停止しますが、電気は足りています。この時期に、コロナ禍の避難等について、住民の意見を聞きながら検討してください。

以下の要望と質問に回答をお願いします。

【要望事項】

感染症対策と原発事故の避難は両立しません。そのため

1. コロナ禍の避難計画について、福井県や伊丹市等の避難先自治体と問題点を具体的に協議してください。
2. 大飯原発3号は定検で停止中です。4号も11月3日に定検で停止します。コロナ禍では大飯原発の運転再開をしないように表明してください。
3. コロナ禍で美浜町の避難者を受け入れるのは困難です。美浜3号の再稼働に反対を表明してください。

【質問事項】

1. 8月27日の原子力防災訓練について

防災訓練は、コロナ禍で大飯原発と高浜原発が同時発災したとの想定で実施されました。参加した住民は5km圏内の大島地区のわずか50名、その内避難先（敦賀市プラザ萬象）まで移動したのは約30名でした。

（1）安定ヨウ素剤について

訓練では、住民が一時集合場所（はまかぜ交流センター）を出発したのは11:45でした。その前の11:20には緊急事態宣言が出されました。通常であれば、緊急事態宣言が出されれば安定ヨウ素剤を服用することになっています。

① しかし訓練では、安定ヨウ素剤の持参確認も服用指示もありませんでした。なぜですか？

② UPZ住民の避難では人数も多く、コロナ禍では検温等の作業もあり、多くの人手と時間が必要になります。その上さらに、一時避難所で安定ヨウ素剤配布のために問診等をすれば避難は一層遅れてしまいます。

UPZ住民にも安定ヨウ素剤を事前配布すべきではないですか？福井県との調整等は進んでいるのでしょうか？

（2）移動手段等について

通常の原因事故避難の場合、バス1台に45人程の乗車が想定されています（「おおい地域の緊急時対応47頁」）。しかし訓練では、30名の避難者にバス4台が必要でした（濃厚接触者用1台、感染の疑いのある者用1台、それ以外の住民用2台）。

① コロナ禍で大飯原発で事故が起きた場合、おおい町の5km圏内（PAZ）住民は約700名、30km圏内には町全体が含まれ、約8,200名の住民全員が避難することになります。

コロナ禍で全住民が避難する場合、濃厚接触者用等を含め、バスは何台必要になりますか？その手配は可能でしょうか？

② 自家用車で兵庫県に避難する場合、車両一時保管場所として「丹波の森公苑」と「三木総合防災公園」が指定されています。ここで、バスに乗り換えることになります。乗り換えるバスも「濃厚接触者用」「感染の疑いのある者用」と区別されることになります。

(a) 乗り換え用のバスは何台必要と想定されていますか？

(b) バスに乗り換える場合に、避難先ごとに濃厚接触者用等に区別して乗車するためには、相当の職員数が必要となり、混乱も予想されます。どのような対策を考えられていますか？

（3）福井県内の避難所について

8月の訓練では、ガイドライン^{※1}に沿って避難者スペースは一人4m²で、前後左右に2mの通路が確保されました。そのため、座席数約400名のプラザ萬象小ホールでは、30名弱の避難スペースを確保するのがやっとでした。[資料1 ガイドライン12頁]

※1「原子力災害における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（第1版）」（2020年8月福井県）

おおい町の県内避難先は敦賀市で、避難所の数は20か所です。コロナ禍では避難所数は足りないのではないのでしょうか？

2. 避難先の伊丹市の受け入れ状況について

私たちは10月12日に、伊丹市に申し入れに行きました。伊丹市は、原発事故時に、おおい町の本郷地区・名田庄地区の住民約4,500名を受け入れることになっています。コロナ禍で受け入れが可能なのか等について問いました。伊丹市の回答は以下のような内容でした。

- 伊丹市民用のコロナ禍での避難所の場合：通常の避難スペースは一人3m²以上。これに通路を含めれば、通常の約2倍の面積を想定している。
- これに基づけば、おおい町から4,500を受け入れるには、数字上は倍の避難所が必要。
- 現在受け入れ避難所は24の小中学校となっており、それ以上に避難所はない。
- 学校では授業をしていることを前提にしているため、避難所は体育館に限っている。そのため、濃厚接触者用等に別室を設けることはできない。

(1) この伊丹市の回答からすれば、おおい町民約4,500名の避難は無理ではないのでしょうか？

(2) 伊丹市は避難所を提供するだけで、避難所で必要となる備品などは全ておおい町が準備することになっていると話しました。体温計、簡易ベッド、間仕切り等は、避難経路の途中に倉庫を借りて備蓄しており、避難の途中に立ち寄っておおい町が持参することになっているとの説明でした。

①備蓄倉庫は、避難経路のどこにあるのですか？

②おおい町全住民に必要な簡易ベッド等が準備されているのですか？

(3) 伊丹市は、避難所の数等について、兵庫県やおおい町・福井県と協議していきたいと表明しました。伊丹市から連絡等がありましたか？

(4) 拭き取りだけの除染について

一昨年以來問題になっていますが、名田庄地区住民のスクリーニング・除染場所は京都府南丹市美山町の美山長谷運動広場です。ここでは、南丹地区住民の要望もあり流水除染を行わず、タイヤとワイパー部分を拭き取るだけの除染となっています。しかし、受け入れ先の伊丹市や川西市は、拭き取り除染だけでは市に汚染が持ち込まれることを懸念し、おおい町に、除染の改善を要請しました。これを受けておおい町は、伊丹市等に「拭き取り除染は懸念している。同様に課題を認識しており、福井県に文書で伝えた。内閣府・福井県等で検討される」と回答しました（私たちはこの回答を、昨年7月のおおい町申入れで聞きました）。

10月12日の伊丹市申入れでは、その後、おおい町から連絡は来ていないとのことでした。

拭き取りだけの除染について、改善等は進んでいますか？

3. 美浜原発事故時の美浜町住民の受け入れについて

おおい町は、大飯・高浜原発事故時には避難することになりますが、他方で、30km圏外の美浜原発で事故が起きた場合は、約9,300人の美浜町全住民の避難受入先になります。美浜町の避難先は、風

向きによって県内のおおい町と大野市だけです。

(1) 美浜町の「広域避難計画要綱」(2020年4月)^{※1}では、約9,300名美浜町住民を、おおい町内の10か所の小中学校等で受け入れることになっています。[資料2:美浜町計画15~16頁の別紙1]

例えば、名田庄体育館651名、名田庄中学校体育館952名、おおい町総合町民体育館1,578人等、一か所に多数の避難者を受け入れる計画になっています。

コロナ禍でのガイドラインに従えば、各避難所で想定されている避難者を受け入れるのは無理ではないでしょうか？

※1 美浜町広域避難計画要綱 http://www.town.mihama.fukui.jp/open_imgs/info/0000012696.pdf

(2) 美浜町の住民は、どこでスクリーニング・除染を行って、おおい町の避難所に入るのでしょうか。美浜町の避難計画18頁「別図1」に避難ルートが示されています。例えば、「美浜東小学校区」の地域住民は、舞鶴若狭自動車道を使用し、若狭美浜ICから大飯高浜ICで降りることになっています。この地区のPAZ(丹生、竹波、菅浜)以外の住民は、どこでスクリーニング・除染を行うのでしょうか？ [資料3:美浜町計画18頁 広域避難ルート]

(3) 美浜町の「広域避難計画要綱」26頁の別表9では、自家用車で避難した場合の自家用車の駐車場として、集落名ごとに2か所の施設名が記されています(長井浜海水浴場駐車場、名田庄総合運動場グラウンド)が上がっています。しかし表に記載のない集落は「避難先施設の駐車場を使用する」となっています。[資料4:美浜町計画26頁]

避難先施設が小中学校(佐分利小学校、本郷小学校、名田庄中学校、名田庄小学校)の場合に、美浜町からの自家用車は学校の駐車場・グラウンドを駐車場として使用することになります。

これでは、学校のグラウンドが汚染されてしまうのではないのでしょうか？この計画でいいのでしょうか？

(4) 2019年8月に実施された福井県防災訓練は、美浜原発3号で原発事故が起きたことを想定したものでした。おおい町の「うみんぴあ大飯」がスクリーニング・除染場所でした。美浜町からの避難者を乗せたバスは、流水は使わずに、乾いた紙ウエス(キッチンペーパーのようなもの)でタイヤをふき取るだけで、おおい町の避難所に移動しました。

①これではおおい町に汚染が持ち込まれるのではないのでしょうか？拭き取り除染でいいのでしょうか？

②美浜町や福井県と協議はされていますか？

(5) とりわけコロナ禍では避難の受け入れは困難なため、美浜3号の再稼働に反対を表明すべきではないのでしょうか？

2020年10月22日

ふるさとを守る高浜・おおいの会

避難計画を案ずる関西連絡会(連絡先団体:グリーン・アクション/原発なしで暮らしたい丹波の会/

脱原発はりまアクション/原発防災を考える兵庫の会/美浜の会/避難計画を考える滋賀の会)

この件の連絡先団体 美浜の会 大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL:06-6367-6580